

# ようろう 議会だより



2018.5.1

(平成 30 年)

No.140

140 号

2018.5.1  
ようろう議会だより

発行/2018年5月1日 養老町議会 〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798 TEL0584-325084(直通) 編集/議会だより編集特別委員会 印刷/盛福印刷機



「議会について学ぶ」(広幡小学校)

**3月**  
定例議会

ホームページ  
<http://www.town.yoro.gifu.jp/>



議会QRコード

「平成 30 年度予算決まる」	2
常任委員会・予算特別委員会報告	4
ほかにこんなことが決まりました	6
町の考えを問う(5議員が一般質問)	9
「議員と話そう」アンケート結果	14
あれから「地域の日」はどうなったんやあ〜	15
議会に対しての意見(住民の声)	15
委員会行政視察報告・議会ニュース	16

ページ

### 「子どもの貧困対策の取り組みについて」(大阪府箕面市)

箕面市の重要施策として教育振興基本計画のトップに子どもの貧困の連鎖の根絶を位置付けており、平成28年4月から子ども成長見守り室を設置した。学校内や行政の様々な部署に散在している子どもの情報・家庭に関する情報を集積し、子ども個人に結びつけるとともに、その情報を過去分から集積し変化を追跡できるデータベースを構築していた。それをもとに専任組織が0歳から18歳まで現況確認を続け、課題の兆候がみられたら担当セクションに早期の支援策を指示し、指示策の効果があるのであるかも再確認しながら成長を見守っている。

様々な子ども、家庭環境がある中で、特定の支援だけあればいいというわけではなく、情報データベースをいかして、戸別支援も含めて子どもの状況にあった本当に必要な支援をいかに実施していくかが重要であることを確認した。



### 「保健・福祉に対する取組について」(奈良県山添村)

特定健診を保健福祉センターで集団検診として実施しており、昭和58年から地域ごとに保健推進員を委嘱し、特定検診案内を直接各戸へ配布し受診勧奨を行っていた。直接配布することにより推進員と住民との間に繋がりが生まれ、そのことが受診率平均52%で奈良県下1位と2位の高い水準を維持している。

村単独で保健種別関係なく30歳代検診の実施や、平成29年度から地域おこし協力隊事業を活用して、地域での自由な保健活動を行うことを目的とした「コミュニケーションナース」を配置していた。この「コミュニケーションナース」は、各戸まわって健康相談やそれ以外の一般的な相談を行い、住民と直接寄り添う中で、気づき・問題があれば関係機関と連携し問題を解決していくものであり、認知症の早期発見や、地域づくりの一躍を担っていた。



### 総務民生委員会

1月18日〜19日

参加委員  
早崎百合子(委員長)  
水谷久美子(副委員長)  
林 輝 見 弘 敏 夫 博 一  
田 中 敏 正 龍 義 貞  
三 田 澤 倉 山  
長 北 倉 山  
青 山 (議長)

## 議会ニュース

### 垂井町議会との合同研修

1月26日に垂井町議会が本庁を訪れ、養老町議会と合同で養老改元1300年祭総括について執行より説明を受けました。また、垂井町議会議務局より選挙広報についての説明も受けました。



### PTAと意見交換会

議会改革特別委員会はPTA連合会と意見交換会を開催しました。子育て支援や教育行政、小中学校の現状等について活発な意見交換がなされ、最後にグループごとに発表しました。



### 神戸町議会との合同研修

3月29日、神戸町議会が養老鉄道に乗車し本町を訪れ、本議会と養老S AスマートICを視察。現場にてNEXCO中日本より説明を受けました。



委員	委員	委員	副委員長	委員長
吉田	早崎百合子	松永	北倉	長澤
太郎		民夫	義博	龍夫

議会だより編集  
特別委員会

**6月に定例会を開会の予定です。ぜひ傍聴にお越しください。**

なお、今年度一般質問の様子は、ケーブルテレビで収録放送されます。(詳しい日程については、町ホームページでお知らせします。ご不明な点は、議会議務局までお問い合わせください。)

「わたしの声」を待っています。役場ロビーに意見箱を設置してあります

「わたしの声」の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会議務局内  
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812  
メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp



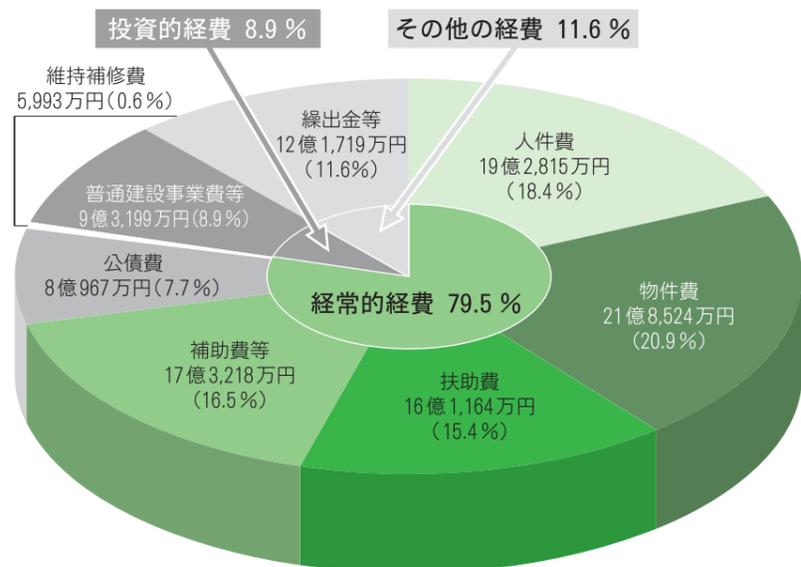
# 平成30年度 予算総額は 184億3,900万円

一般会計 104億7,600万円 (5億2,200万円減)  
 特別会計 72億6,580万円 (8億9,840万円減)  
 企業会計 6億9,720万円 (7,390万円増)

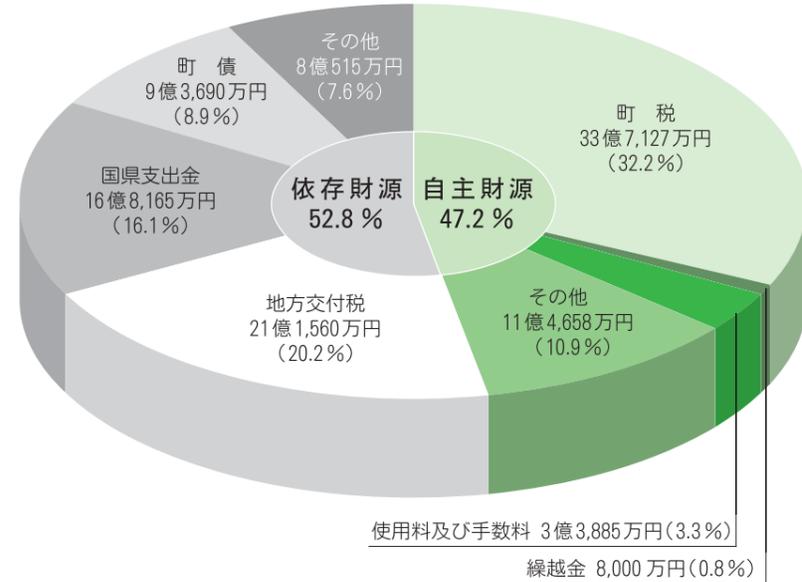
平成30年度当初予算額(単位:万円)

一般会計予算	金額	前年比
一般会計(A)	1,047,600	▲52,200
特別会計予算	金額	前年比
国民健康保険	348,120	▲96,210
簡易水道	1,900	▲40
食肉事業センター	13,420	▲220
住宅新築資金等貸付	980	▲200
公共下水道事業	38,700	2,320
農業集落排水事業	3,100	90
介護保険事業	287,000	3,500
介護サービス事業	1,520	220
後期高齢者医療	31,840	700
小計(B)	726,580	▲89,840
企業会計予算	金額	前年比
上水道事業(C)	69,720	7,390
総計(A)+(B)+(C)	1,843,900	▲134,650

## 一般会計歳出



## 一般会計歳入



## 3月定例会

平成30年第1回定例会が、3月2日から20日までの19日の会期で行われました。  
 初日(2日)は、町長から新年度の施政方針が示され、また、全50議案の提案説明を受け、総括質疑を行った後、予算特別委員会を選任し、14議案の審査を予算特別委員会へ付託することに決定しました。また、28議案を各常任委員会に付託しました。また、町営住宅に関する5議案の専決処分報告を受け、人権擁護委員候補者の推薦について

同意しました。  
 2日目(19日)は、5議員が一般質問を行いました。また、その様子をケーブルテレビにより収録しました。最終日(20日)は、各常任委員会委員長及び予算特別委員会委員長から審査報告があり、平成30年度一般会計予算を含む、全42議案を原案のとおり可決し、追加議案として副町長の選任について同意しました。

## 本会議での 主な質疑及び討論

**養老町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定**  
 養老町コミュニティプラントの設置及び管理に関する条例の一部改正

**町内の指定居宅介護支援事業所の件数と町が行う業務内容**  
 料金改定に伴う増収見込み額と近隣市町との比較、及び周知方法は。

**9件で事業所の認可、指導等を行う。**  
 西濃圏域で一番料金が低い町にあわせて改定し、年間で160万円の増収を見込んでいる。広報誌やホームページ等で概ね半年間の周知期間をとる。

**用語説明**  
 経常的経費…毎年度連続して固定的に支出される経費  
 投資的経費…支出の効果が長期にわたる経費  
 扶助費…生活保護費、児童手当など  
 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済  
 物件費…賃金、光熱水費、郵便料、電話料、委託料など

**用語説明**  
 自主財源…町が自主的に収入できるお金  
 依存財源…国や県から交付されるお金など  
 町税…町民税や固定資産税など  
 国県支出金…特定する事業の財源として、国や県からもらえるお金  
 町債…国や金融機関から借りるお金

**問** コミュニティプラント、農業集落排水、公共下水道の料金改定は同時に行うのか。  
**答** 不公平感のないよう一番事業の大きい公共下水道料金にあって料金改定を行う。

**問** 企業誘致により高齢者雇用の確立を図る。また、検診・認知症の早期発見に対する事業等も継続していく。  
**答** 施策の取組に対して首長に求められる姿勢の見解は、なるべく多くの意見を交わしながら

**問** 任期中に具体的に何を期待しているか。  
**答** 1300年祭を終わって新たなまちづくりビジョンの策定と共に進めていきたい。

**問** 平成29年度養老町一般会計予算  
**答** 平成29年度当初00人増で4356人の見込み。  
**問** 被保険者増の見込みは。  
**答** 平成29年度当初4256人から100人増で4356人の見込み。  
**問** 平成29年度養老町後期高齢者医療特別会計補正予算  
**答** 現時点では公設公営か公設民営かは決定していない。平成32年開設予定であり平成30年、31年で検討している。

**問** (仮称)養北認定ことも園の運営主体は。  
**答** 現時点では公設公営か公設民営かは決定していない。平成32年開設予定であり平成30年、31年で検討している。

# 総務民生委員会

**養老町行財政改革推進審議会設置条例の制定**

**問** 委員構成人数の想定は。

**答** 学識経験者、各種団体の構成員、公募委員それぞれ4名を想定している。

**養老町いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定**

**問** 調査の公表はうたわれてないが、どのように考えているか。

**答** 学校は重大事態が発生した場合に直ちに教育委員会へ報告し、教育委員会は町長及び県教育委員会へ報告する。被害児童及び保護者には調査内容を公表するが、一般への公表は法律上規定されていない。

**養老町児童発達支援事業所の設置及び管理に関する条例の制定**

**問** 配置される職員の有資格者状況と配置人数は。

**答** 高田教室は、正職員であるサービスマネージャー1名、保育士の資格を有する指導員2名、臨時職員である指導員3名。飯田教室は、正職員であるサービスマネージャー1名、指導員が1名、臨時職員である指導員が4名。

**養老町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正**

**問** 代表監査委員の近隣市町との比較は。

# 予算特別委員会

**平成30年度養老町一般会計予算**

**問** (仮称)養老町まちづくりビジョン策定事業の内容は。

**答** 現在第5次総合計画後期基本計画を進めており、それを継承する町のメインの骨格となる新たなビジョンを策定する。平成30年度は基礎調査を実施し平成31年度、32年度の3箇年をかけて本格的な計画を策定する。

**ネクスト100プロジェクト事業の内容は。**

**答** 一過性で終わらないイベントをこれからも続けていく必要があり、養老改元フェスタとまるごと肉まつり養老の2つを柱として、養老改元13000年祭の

**答** 県下町村の平均日額報酬が9927円でほぼ同額であり適正額であると考ええる。

**養老町介護保険条例の一部改正**

**問** 低所得者層の軽減についてどのような措置を講じたか。

**答** 第1段階は基準の0.5であるが、国から0から0.05の範囲内で軽減することができること示されており、最高の軽減率を用いて0.45として予算計上している。

**養老改元13000年事業基金条例の廃止**

**問** 寄附者の人数と金額は。

**答** 平成24年度から28年度において、町内の個人が29件、法人団体が35件、町外の個人が4件、法人団体が13件、

**土地改良区統合の今後の進め方は。**

**答** 新年度に上多度東部や旧六ヶ村排水など4つの土地改良区の統合に向けて合併推進協議会を立ち上げる。今後も順次進めて少しでも土地改良区の数を減らしていく方向で進めていく。

**企業誘致推進事業の今後の進め方は。**

**答** 関係課によるプロジェクトチームを立ち上げ、新たに誘致できる土地を確保し、その情報を発信していきたい。

**橋梁長寿命化計画事業について長大橋点検の対象橋梁は。**

**答** 平成30年度は養老新橋を含め12橋の点検を実施する。駒野橋については引き続き橋梁修繕を実施し平成30

合計81件、3251万9170円。

**平成29年度養老町一般会計補正予算**

**問** 養老改元13000年プロジェクト事業1736万6千円減の内訳は。

**答** 経費節減しアイデアをだしながら事業を行ってきた結果、主に養老改元13000年祭実行委員会への負担金が減額。

**中学校校舎等施設整備事業補正により中学校2校の空調整備を行うが、小学校の空調整備の今後の考え方は。**

**答** 平成30年度当初予算に暖房設備が故障している笠郷小学校分を計上している。残り6校については、設計費を計上している。

**土地改良区統合の今後の進め方は。**

**答** 新年度に上多度東部や旧六ヶ村排水など4つの土地改良区の統合に向けて合併推進協議会を立ち上げる。今後も順次進めて少しでも土地改良区の数を減らしていく方向で進めていく。

**企業誘致推進事業の今後の進め方は。**

**答** 関係課によるプロジェクトチームを立ち上げ、新たに誘致できる土地を確保し、その情報を発信していきたい。

**橋梁長寿命化計画事業について長大橋点検の対象橋梁は。**

**答** 平成30年度は養老新橋を含め12橋の点検を実施する。駒野橋については引き続き橋梁修繕を実施し平成30

# 産業建設委員会

**養老町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正**

**問** 加入件数を増やすことも含め今後の方向性は。

**答** 現在の加入件数は125件であり10件ほど未加入であるが、すでに介護施設を取り込んでおり、全て接続すると施設の増強等が必要になってくるため、考慮して運営を進めていく。

**養老町商工業振興対策審議会条例の廃止**

**問** 条例を廃止することにより商工業振興が遅れないか。

**答** この審議会は町の附属機関であり、町長が諮問することがな

ければ開催できないことに対し、昨年制定した「養老町中小企業・小規模企業振興基本条例」は、中小企業の振興を図ることを町の責務としており、この条例に基づきさらに幅広く商工業振興を図っている。

**平成29年度養老町一般会計補正予算**

**問** 建築物等耐震化促進事業が減額であるが実績は。

**答** 事前相談を踏まえて木造住宅耐震補強工事補助等で6件見込んでいたが、実際に実施されなかったため減額。町への相談はあるので事業は今後も進めていきたい。



**高額な不納欠損や滞納整理をする場合は、当事者に会って直接相談をし、状況を確認してから処理するべきと考えが見解は。**

**答** 事情を話し合えば解決の糸口がみえることもあるという意見もふまえ、どのような方法が徴収推進につながるか、手法について今後検討したい。

**日独交流事業の今後について、発展的な国際交流の在り方を模索する必要があると思つが見解は。**

**答** 現状の文化交流とスポーツ交流だけでなく、福祉に関する交流や、中学生など子ども達の交流が実施できるよつ今後検討していきたい。

**中学校の部活動について先生の負担増や指導者不足等の問題を踏まえて今後の考え方は。**

**答** 中学校の部活動について先生の負担増や指導者不足等の問題を踏まえて今後の考え方は。

**平成30年度養老町国民健康保険特別会計予算**

**問** 広域化に伴い被保険者にとっての変更点は。

**答** 高額療養費は4回目以降に限度額が下がるが、広域化によって県内の住所変更であれば下がった限度額で継続されること、保険証が養老町と岐阜県が併記されること。

議案	内容	採決
養老町児童発達支援事業所の設置及び管理に関する条例の制定	平成30年4月に養老町飯田地区内に児童発達支援事業所の新設及び既存施設と併せて名称を変更することに伴い、養老町児童発達支援事業所の設置及び管理に関する条例の制定を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定	指定居宅介護支援事業者の指定等に係る権限が岐阜県から養老町に移譲されるため、養老町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町税条例等の一部改正	固定資産税の納期前納付に係る報奨金の交付制度について、自主納付意識の向上、口座振替の普及などにより、期限内自主納付が浸透し、一定の目的を果たしたものと判断し交付制度を廃止するもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町国民健康保険条例の一部改正	「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営を担う責任主体となることから、所要の改正を行うもの。また、被保険者の1期あたりの負担軽減を図るため、期別変更を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町手数料条例の一部改正	地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令が、平成30年1月26日に公布され、同年4月1日より施行されることに伴い、本条例について、所要の改正を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町国民健康保険基金条例の一部改正	「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営を担う責任主体となることに伴い、所要の改正を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	平成30年1月31日に特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が公布され、平成30年4月1日から施行されることに伴い、この府令を参考基準としている本条例について所要の改正を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律及び関係政令の整備に関する政令が、平成30年4月1日から施行されることに伴い、本条例について所要の改正を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町コミュニティ・プラントの設置及び管理に関する条例の一部改正	本町におけるコミュニティ・プラント事業について、経営基盤を強化するため使用料の改定を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町国民健康保険条例の一部改正	「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部が改正する法律」が施行に伴い、平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営を担う責任主体となることに伴い、所要の改正を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町介護保険条例の一部改正	現在の第6期介護保険事業計画が平成29年度に終了し、第7期介護保険事業計画の期間である平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の介護保険料を定めるため、条例の一部を改正するもの	賛成多数で可決
議案	内容	採決
養老町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正	平成28年9月の介護保険法施行令の一部改正で、平成30年4月1日から施行される条項の一部が追加されたことにより、介護保険条例の附則に規定する条文に、引用ずれが起きるため、条例の一部を改正するもの	賛成全員で可決

**問** 第3配水区域管内洗浄業務の内容と期間及び区域内の管延長は。

**答** 管延長は約60km。約2箇月で仕切り弁の調査を行い、それに基づき全体を約24ブロックにわけて、仕切り弁を開閉して洗浄する区域を定め、ポンプ場から圧力をかけて管内の汚れを落とす作業を行う。作業は事前周知し夜10時から朝5時までの夜間に実施する。

**問** 平成30年度養老町上水道事業会計予算

**答** 貸付件数が58件で返済期限は平成34年度まで。

**問** 対象件数と返済期限はいつまでか。

**答** 平成30年度は10月請求分から料金改定を行うため、半年分で68万円で、平成31年度以降は年間概ね100万円ほど。

**問** 在宅医療・介護連携推進事業が増額であるが事業内容は。

**答** 医療分野、介護分野の情報の橋渡し役を目的として、在宅医療介護連携支援コーディネーターを設置する。ケアマネージャーや医療関係者等、多職種種の相談・調整を行う業務として養老町医師会へ委託する予定。

**問** 平成30年度養老町介護保険事業特別会計予算

**答** 料金の改定に伴う増収見込みは。

**問** 平成30年度養老町農業集落排水事業特別会計予算

**答** 平成30年度養老町農業集落排水事業特別会計予算

## ほかにこんなことが決まりました

報告	内容	採決
専決処分の報告（養老町営住宅の管理に関する和解）	相手方 三神町住宅滞納者A 裁判所 大垣簡易裁判所 事件名 建物明渡等請求事件 未払賃料等 7,700円	賛成全員で可決
報告	内容	採決
専決処分の報告（養老町営住宅の管理に関する訴えの提起）	相手方 三神東住宅滞納者A及び不法占有者B・C・D 裁判所 岐阜地方裁判所大垣支部 事件名 建物明渡等請求事件 滞納金額 1,715,025円	賛成全員で可決
報告	内容	採決
専決処分の報告（養老町営住宅の管理に関する訴えの提起）	相手方 滝見町住宅滞納者A 裁判所 大垣簡易裁判所 事件名 建物明渡等請求事件 滞納金額 34,500円	賛成全員で可決
報告	内容	採決
専決処分の報告（養老町営住宅の管理に関する訴えの提起）	相手方 滝見町住宅滞納者A 裁判所 大垣簡易裁判所 事件名 建物明渡等請求事件 滞納金額 29,900円	賛成全員で可決
報告	内容	採決
専決処分の報告（養老町営住宅の管理に関する和解）	相手方 豆川原住宅契約者A及び居住者B 裁判所 岐阜地方裁判所大垣支部 事件名 建物明渡等請求事件 未払賃料等 203,000円（分割支払い）	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町行政改革推進審議会設置条例の制定	これまで以上に実効性を持って行財政改革を推進していく必要があることから、従来の懇談会ではなく附属機関として「行財政改革推進審議会」を設置するとともに、関係条例について所要の改正を行うもの	賛成全員で可決
議案	内容	採決
養老町いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定	地域基本方針である「養老町いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ防止等の対策を実行的に行うため、町並びに、教育委員会の附属機関を設置するにあたり条例を制定するもの	賛成全員で可決



◆北倉 義博 議員

**問** 経済効果について  
の検証は。

**答** 経済効果は約7億6200万円である。新聞やテレビに取り上げられた部分は、広告換算すれば約2億9000万円になり合わせると約9億7000万円となる。

**問** ことにも関わりの事業の継続は。

**答** タイムカプセルは学校単位で検討。教育委員会としてはふるさと養老テキスト・養老まちの宝物46選・親孝行作文コンクールなどで元気なシニア層を含めた地域全体で子どもを育てる気運を盛り上げていきたい。



腕組み乾杯ギネスに挑戦

## 企業誘致の現状は

### 町長 開発可能な用地を選定

**問** サラダコスモの進出について

**答** 平成31年度末に完成予定で200名ほどの雇用があると聞いている。

**問** は。

**答** インフラの充実に加え地域未投資促進法基本計画の同意を国からいただき、県と連携を図りながら進めている。企業立地奨励金の対象業種の拡大も条例改正で対応している。

**問** 昨年養老インターチェンジが開通し今年にはスマートインターチェンジが開通予定。それに伴う周辺道路の整備も進み1300年祭で養老の知名度が高まった今、このタイミングを逃さず対応すべきと考えるが、現状は。

**答** 養老元1300年祭・本祭は概ね成功裏に終わったと思われるが、多大な予算の内寄附金や交付金・補助金で賄えた額は。

町長

### 魅力を更に発信・PR

## 本祭の検証と今後は

**問** 渋滞対策は。

**答** 養老鉄道を利用したパークアンドライドや交通規制の実施など、事前に警察署、道路管理者等と相談する。

**問** 一過性で終わらないために、また削減可能性都市から脱却するためにどのような手を打っていくのか。

**答** 本祭事業で得られたブランドイメージやインフラ整備をもとに、安心・安全の確保、環境の向上、地場産業の推進、雇用の充実のための事業を継承する。新たに「ネクスト100プロジェクト事業」を起ち上げ、魅力を更に発信PRする。

議案	内容	採決
養老町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	「指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準」の一部改正により、現行条例を国が定める基準どおりに改正するため、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
養老町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」の一部改正により、現行条例を国が定める基準どおりに改正するため、所要の改正を行うこと及び介護保険法の一部改正により引用する法令に項が追加され条項ずれが起きるため、所要の条文整備を行うもの	採決 賛成全員で可決
養老町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援方法に関する基準を定める条例の一部改正	「指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準」の一部改正により、現行条例を国が定める基準どおりに改正するため、所要の改正を行うこと及び介護保険法の一部改正により、引用する法令に項が追加され条項ずれが起きるため、所要の条文整備を行うもの	採決 賛成全員で可決
養老町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令が平成30年2月7日に公布され、同年4月1日より施行されることに伴い、本条例について、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
養老町火災予防条例の一部改正	消防法令に関する重大な違反のある防火対象物について、その法令違反の内容を利用者等へ公表することにより、利用者等の防火安全に対する認識を高めて火災被害の軽減を図るとともに、防火対象物の関係者による防火管理業務の適正化及び消防用設備等の適正な設置促進に資するため、本条例の一部を改正するもの	採決 賛成全員で可決
同意	内容	採決
人権擁護推進候補者の推薦	西脇シゲ子（船附）、岩永 順子（三神町）、高木 和子（烏江）	賛成全員で同意
議案	内容	採決
平成29年度養老町一般会計補正予算（第6号）	4,584万5,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ109億5,800万6,000円とする （主な増減の内訳） ふるさと納税推進事業 1,643万7,000円 中学校校舎等施設整備事業 1億4,197万円 養老改元1300年プロジェクト事業 ▲1,736万6,000円	採決 賛成全員で可決
議案	内容	採決
平成29年度養老町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	808万7,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億2,025万7,000円とする （増減の内訳） 後期高齢者医療広域連合納付金 808万7,000円	採決 賛成全員で可決
議案	内容	採決
平成30年度養老町立食肉事業センター特別会計の繰入れ	4,780万円を一般会計から繰入れるもの	採決 賛成全員で可決
議案	内容	採決
平成30年度養老町公共下水道事業特別会計の繰入れ	2億4,643万6,000円を一般会計から繰入れるもの	採決 賛成全員で可決
議案	内容	採決
平成30年度養老町農業集落排水事業特別会計の繰入れ	2,337万6,000円を一般会計から繰入れるもの	採決 賛成全員で可決
同意	内容	採決
副町長の選任同意	柏淵 裕昭（宇田）	採決 賛成多数で同意



◆長澤 龍夫 議員

**問** 村前道路の整備については、当初アクセス道路は村西道路を整備し通行する計画であったか。

**答** 地元住民の要望書のもとに公安委員会と協議し決定する。



養老SAスマートIC上り線入口付近

**問** 宇田大通寺前信号から西進する大型車通行禁止の標識の設置は、

**答** 一般県道の地方幹線道路を経由する誘導計画が国交省、岐阜県等と協議の上、「承認を得ている。」

**問** アクセス道路の誘導標識は、

が、地元からの要望で入口の計画変更（象鼻山南口へ）により、村前道路を改良する計画はなくなつた。

**問** 養老SAスマートIC設置については、地元橋爪区を中心に設置対策協議会を平成24年12月に設置、関連機関と協議しいよいよ開通の運びとなるが、交通事故や防犯率等の増加、また子ども達の登下校が危険にさらされることへの不安がある。

※ここで示す村前道路とは、橋爪地区と養老SAの間の道路すなわち、養老SA北側の道路を指す。

### 町長 開通後の状況を考慮し対応

## 養老SIC周辺の安全策は



◆水谷久美子 議員

**問** 地方債発行・基金活用・一般財源に配慮した財政運営を。

**答** 町税など一般財源確保と、地方債の発行の実施事業の精査と年度間調整により平準化を図る。

**問** 最低限担保すべき基金残高を明確にし町民の願いに叶える基金活用を。

**答** 住民一人当たりの基金残高は県内で低く、減少傾向でもある。標準財政規模の10%に留意し、町税の徴収強化や経常経費の削減に取り組む。

**問** 中期的計画を精査した単年度の目標厳守財政計画の予算編成になっているか。

**答** 単年度財政計画は作成していないが、例年「予算編成方針」を定め全職員に周知し留意点を示している。施設の大規模改修などは、長期的視点で重要性、緊急性を精査し予算計上している。

**問** 広報養老に掲載する予算・決算は、動態等で町民に分かり易い掲載に。

**答** 町民アンケート実施中で、その結果も踏まえホームページ活用などと合わせて検討したい。

**問** 広報養老に掲載する予算・決算は、動態等で町民に分かり易い掲載に。

**答** 町民アンケート実施中で、その結果も踏まえホームページ活用などと合わせて検討したい。

## 認知症支援対応条例を

### 町長 他市町の情勢踏まえ今後検討



導入されたタッチパネル「物忘れ相談プログラム」

**問** 認知症の人が第三者を負傷等させた場合に対応する公的救済制度保険の加入見解は。

**答** 国の公的救済制度への進捗が見られず、情勢に注視したい。

**問** 現在取り組んでいる認知症施策を重視し、新年度も予防に特化した教室を開催。条例化は今後検討したい。

**答** 現在取り組んでいる認知症施策を重視し、新年度も予防に特化した教室を開催。条例化は今後検討したい。

**問** (仮称)認知症に対する不安のない町づくり条例の制定を提案するが。

**答** 介護家族の監督責任が最高裁判所で問われた愛知県大府市の鉄道事故。本人や介護者家族を含めきめ細かな安心策を町も地域社会も講じることは、大きな課題である。

## 象鼻山古墳群の駐車場等は

### 町長 現在では実施できない

象鼻山古墳群は、2世紀後半（弥生時代末期）造成され70基の古墳群があり1号古墳は3世紀後半に築造、全国でも最古級の前方後方墳である。被葬者は『三國志』魏志倭人伝にも記述がある邪馬台国と狗奴国に深く関わる人物であるとされ、全国から見学者が訪れ、地元小学校でも学習拠点となっている。

**問** 登山道付近の駐車場整備は。

**答** 駐車場を整備しても牧田・室原線の県道を横断することになり危険である。歩道橋整備は財政面において非常に難しい。

**問** 古墳群への登山道整備は。

**答** 登山道は林道なので倒木処理や豪雨等による林道補修には町で対応するが、抜本的な整備は県と協議する。

**問** ボランティアガイド開設の考えは。

**答** 今年度、観光ボランティアガイドの養成講座を開催し、その育成を図っている。今後は象鼻山古墳群等の文化財の案内にも対応できるようボランティアガイドを育成していきたい。



◆ 岩永 義仁 議員

**問** 経済効果は7億6200万円であり、昨年の本祭事業費1億6000万円に対しては約4・8倍の効果があった。

**答** 町執行は1300年祭事業の実施にあたり、本祭予算の2倍以上の経済効果を見込んでいると説明してきた。昨年12月に1300年祭が終了したが、その経済効果は投資額に対してどのような結果となったか。

**問** 来年度予算に肉まつりや改元フェスタの継続事業費が計上されているが1300年祭の縮小版では結局一過性のイベントではないか。

**答** 継続させるものを取捨選択し、フレッシュアップの上「ネクスト100事業」として展開していく。

町長

### 経済効果は7億6千万円

## 1300年祭の成果は

「養老改元1300年祭は5箇年ほどに渡り準備され、本祭を含めこれまでに関連予算が6〜7億円ほど投入されている。

**問** 町執行は1300年祭事業の実施にあたり、本祭予算の2倍以上の経済効果を見込んでいると説明してきた。昨年12月に1300年祭が終了したが、その経済効果は投資額に対してどのような結果となったか。

**答** 継続させるものを取捨選択し、フレッシュアップの上「ネクスト100事業」として展開していく。



◆ 吉田 太郎 議員

町長

### 早急に排水機を設置予定

## 南直江地区の浸水対策は

南直江地区の浸水被害は平成16年度は70戸、平成25年度は56戸、昨年は86戸の床下浸水が発生している。



平成25年の浸水被害

**問** 浸水対策に対するこれまでの取り組み状況は。

**答** 浸水実績に基づきシミュレーションを実施し対策方法を検討した。排水ポンプ設置が有効と考え、排水方式とポンプのサイズ等について検討した。

**問** 排水機の設置に向けた今後の取り組みは。

**答** 国の交付金事業である雨水公共下水道事業を活用して、排水ポンプの設置に向けて、基本計画の策定を予算計上した。国の認可が下りれば、平成31年度に排水ポンプ施設の設計を行い、平成32年度から2箇年程度で工事を実施していく予定である。

## 町長の政治姿勢は

町長

### 3期目へ挑戦

**問** 町政2期目の施策に対する進捗状況は。

**答** 養老改元1300年祭事業の本祭を開催し、住民、各種団体、事業者との協働、交流人口の増加、地域の活性化に大きな成果を得た。地域自治町民会議の設立について人口減少社会の中、より良い地域づくりを進め、行政と協働で取り組む施策を積極的に働きかけていく。

**問** 3期目をどのように考えているか。

**答** 途中となっている各事業を確かな形にしていく。「住みたくなるまち」の実現のためチームワークを大切にしながら組織で取り組み、親孝行のふるさと「養老」のため、3期目へ挑戦、全力で頑張る覚悟である。

消滅可能性都市の公表名に養老町も含まれていた。国においては「地方創生法」を推進していることから、地方自治体にとって人口減少対策は喫緊の課題である。

## ふれあい公園の維持管理は

町長

### 施設の適正管理に努める



腐食が進む公園内の橋

**問** 清流国体が開催された平成24年に大規模修繕を行っているが、その後の維持管理はどうしているか。

**答** 平成28年度からスポーツ連盟に委託している。定期的に巡回、除草、剪定等の維持管理が行われている。

**問** 例えば五日市川にかかる木造の橋は集材材の腐食が進み朽ちかけている。過去にメンテナンス不足で町民プールの屋根材崩落という惨事があったが、反省が活かされなかった。またしてもメンテナンス不足が原因の事案が起きているが見解は。

**答** これまで以上に維持管理の徹底をするよう指示を行った。今後は公共施設の適正管理に努めていく。

「親水・ふれあい公園」は平成7年にスマイルグラウンドと一緒に整備されたが、現在は木造橋の腐食など荒れ果てた姿をさらしつづつある。

# あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 86

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成29年3月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

地区名	主な実施日	実施内容
高田	8月4日(金)	高田商店街の夏祭りにおいて、田代神社のどじょう踊りや太鼓、高田まつり神楽獅子の披露。
養老	7月28日(金)	養老公園において、約35年前に行われなくなった仮装盆踊り大会を復活させ、開催。
広幡	10月14日(土)	住民による「1300」の人文字の作成や、広幡地域内の史跡や名所を巡る歩け歩け大会を開催。
上多度	9月24日(日)	住民による「改元1300」の人文字の作成や、田んぼアート、地域内の史跡をめぐる「ふるさと探訪ウォーキング」などを開催。
池辺	8月6日(日)	町外転出者を呼び寄せるなど、例年以上に多くの人を集めて開催した盆踊り大会で、薩摩踊りなど地域芸能の披露。
笠郷	11月26日(日)	地区運動会において、船附民踊、栗笠の獅子舞など地域芸能の披露や養老改元1300年を記念したみこし行列などを実施。
小畑	11月11日(土)	地域内の名所や歴史を地域住民が解説しながら巡るウォーキング大会の開催と、その歴史を紹介した冊子の作成。
多芸西部	7月2日(日)	例年地域住民のみで実施していた「子ども相撲」を、広く地域外からも参加者を募り、大会として実施。
多芸東部	4月30日(日)	地域内の史跡や文化財を巡る歩け歩け大会を行い、最後に、よみがえらせた旧多芸小学校校歌を合唱。
日吉	8月5日(土)	ふれあい夏祭りにおいて、宇田雅楽や日吉小学校和太鼓などの地域芸能を披露、象鼻山古墳群入口に案内看板の設置。
室原	9月9日(土)	地域の歴史と文化を知る講演や、室原文楽の上演、地域の伝統文化や歴史を紹介するパネル展示を実施。

## 「養老改元 1300年祭 『地域の日』 は」

地域内の名所や歴史を地域住民が解説しながら巡るウォーキング大会の開催と、その歴史を紹介した冊子の作成。

こうなりました



# 議会に対しての意見

シリーズ 24

## ■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

28年11月のアンケート調査によると「議会傍聴に興味がある」72%、「議会だよりを読んでいる」84%、中でも「興味ある議会内容は一般質問」26%と住民の皆様の高い関心を示すものと、心強く感じております。養老町ホームページより議会録画中継を視聴させていただいていますが、特に地元選出の議員による一般質問には、一段と強い関心を持って拝聴しております。しかしながら必ずしも議論が噛み合わず、町との一体感が乏しい気がします。質問者は町政について質しているにもかかわらず答弁者は国政レベル県政レベルの話に終止していることも散見されます。養老町の身近な問題としてもっと真剣に取り組むべきです。一般質問も単なるパフォーマンスに終わるのではなく、山積みする諸課題に力強く立ち向かって行政とのパイプ役を果たしていただくことを心より期待しております。



(町内在住 S・Nさん)

# 「議員と話そう」アンケート結果

(平成29年10月28日、29日「養老改元 1300年祭フェスタ」にて実施)

## Q. 議会のどのような事に興味がありますか。

- 議員としての議案提案をして下さい。
- 高齢者対策。
- すぐ結果に結びつくインフラ整備より、20年後の町を支える未来の宝に予算を使ってほしい。

## Q. 養老町で進めている認定こども園についてのご意見をお聞かせ下さい。

- 地域の意見を十分に聞くこと。
- 認定こども園化していくことは良いと思います。養老町は幼稚園がなぜ年長しか受け入れないのか不思議でした。
- 耐震工事を早めにしていただき命を守ってあげて下さい。
- 各地区に小さいのではなく、養老女子商業高校跡地に大きいものを作ってほしい。
- 仕事に行く途中に預けていきたいので時間も含めて朝早くから夜まで預かりを希望します。

## Q. 養老町で計画されている道の駅についてご存じですか。

- やるべきでない（他に民間事業計画ある為）
- 収益が上がる経営を考えて立地してほしい。
- 早く進めるほうが良い。
- 一時的なものにならない様、負の遺産にならない様よく検討してください。
- 地域に合った道の駅にしてほしい。

## Q. 1300年祭を終えて来年以降の養老町に期待することがあればお聞かせ下さい。

- 養老ICを活用した町の活性化。
- 養老の観光をさらにアピールしてください。
- 引き続き観光客の人達が訪れてくれるようなイベントをお願いします。
- 人口増加。終わっても継続してイベントを実施。
- 前みたい産業フェスタとして続けて下さい。

## Q. 議会に対して、ご意見等ございましたら何でもご自由にお書き下さい。

- 議員定数の削減。
- 活動が見えにくい。活発な議論を求める。行政の追認機関状態である。
- ボランティア活動をもっと。
- 豊かな住みやすい養老町にしてください。
- 多方面に勉強されて意見をしっかり持ってほしい。
- 住民の意見を大切に。
- 代案を提案してほしい。
- 子育てを支援する町にしてください。



たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。この他にも議会に対してのご意見を多数頂いておりましたが、紙面の都合上、割愛させていただきました。なお、頂いたご意見は、議員全員の共通課題として取り組み、今後も皆様からの負託に応えようよう尽力してまいります。

議会改革特別委員会